

「文化力」で地域を 元気にする取組



「文化力」で地域を元気にする取組

(1) 関西元気文化圏

関西元気文化圏について



《設立総会に出席した小泉首相》

～「文化」で関西から元気になろう～という河合文化庁長官の呼びかけに応え、関西の2府4県(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)や経済団体、関係事業者、報道機関などの代表者50人が賛同して平成15年5月に「関西元気文化圏発起人の会」が発足しました。

さらに、8月には三重県、福井県、徳島県の3県を加えた2府7県に圏域を広げて、推進組織である「関西元気文化圏推進協議会」が設立されました。

推進協議会を中心に、文化団体や企業、自治体、文化庁など多様な主体が、文化活動の展開を通じた文化圏の一体化・活性化の推進に取り組んでいます。

関西元気文化圏への参加について

文化庁及び関西元気文化圏推進協議会では、関西地域における文化活動の充実や文化圏の一体感を醸成することをねらいとして、文化に関連する様々な活動や事業を主催する方々に対し、その自律と協調の精神を尊重しつつ、共通のロゴマークの使用並びに協働による広報活動への参加を呼びかけています。

事業の登録については、関西元気文化圏ホームページ上 (<http://bunka-ryoku.goo.ne.jp/>) で、どなたでも申請手続きができます。

「関西元気文化圏」事業の登録状況

登録件数 5,027件 (平成18年5月現在)

(内訳)

主催事業 12件

共催事業 1,111件

参加事業 3,904件

※上記件数は、既に終了した事業と今後予定されている事業の総数です。

○主催事業

関西元気文化圏推進協議会の文化関連活動や事業を指します。

○共催事業

関西元気文化圏発起人並びに関西元気文化圏推進協議会の構成団体が主催者又はその一員になっている文化関連活動や事業を指します。

○参加事業

主催者が、関西元気文化圏発起人、関西元気文化圏推進協議会及びその構成団体以外の文化関連活動や事業を指します。

「文化力ロゴマーク」について



「文化」というと、演劇、音楽、映画といった芸術や、歴史的建造物、伝統芸能などの文化財だけに限定して考えがちですが、衣食住や生活様式、価値観など、人間と人間の生活にかかわることすべてが「文化」です。

私たち一人ひとりが持っている「文化力」を発揮することの大切さを呼びかけるため、「文化力ロゴマーク」を作成、普及に努めています。

登録事業の例〈主催事業〉



関西文化の日



主催：関西元気文化圏推進協議会、関西広域連携協議会

平成15年度から毎年11月に関西2府7県の美術館・博物館などの文化施設の常設展を中心とした無料観覧を実施しています。この取組は関西元気文化圏域内の方々に広く美術・学術に触れる機会を提供し、文化への関心を高めてもらうとともに、圏域外へも文化が息づく関西を広くアピールすることを目的として、関西元気文化圏推進協議会及び関西広域連携協議会が、事業に参加する地方公共団体や民間等の協力を得て実施しているものです。



《左上：「関西文化の日」リーフレット表紙》

当初216館がエントリーしましたが、その後も参加希望館が増え続け、最終的には235館が参加しました。

《左：「関西文化の日」当日の国立民俗学博物館入口の様子》

お問い合わせ先

関西広域連携協議会企画第三部

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51 大阪府立国際会議場11階

TEL:06-4803-5577/FAX:06-4803-5574



関西元気文化圏賞

開催日時：平成18年1月13日(金)

主催：関西元気文化圏推進協議会

この賞は、文化を通じて関西から日本を明るく元気にすることに貢献するとともに人々への話題を提供した人物・団体に、感謝と一層の活躍を期待して関西元気文化圏推進協議会が平成15年度から毎年度贈っているものです。

その第3回贈呈式が、文化庁芸術祭贈呈式と同日に大阪で開催される「関西元気文化の集い」において行われました。



《芸術祭贈呈式の様子》

【平成17年度受賞者】

《大賞》

坂田藤十郎

《特別賞》

コウノトリ野生復帰推進連絡協議会、ガンバ大阪

《ニューパワー賞》

ディープインパクト号関係者、おいでよ！ 日高実行委員会

お問い合わせ先

関西広域連携協議会企画第三部

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51 大阪府立国際会議場11階

TEL:06-4803-5577/FAX:06-4803-5574



《関西元気文化圏賞の様子》

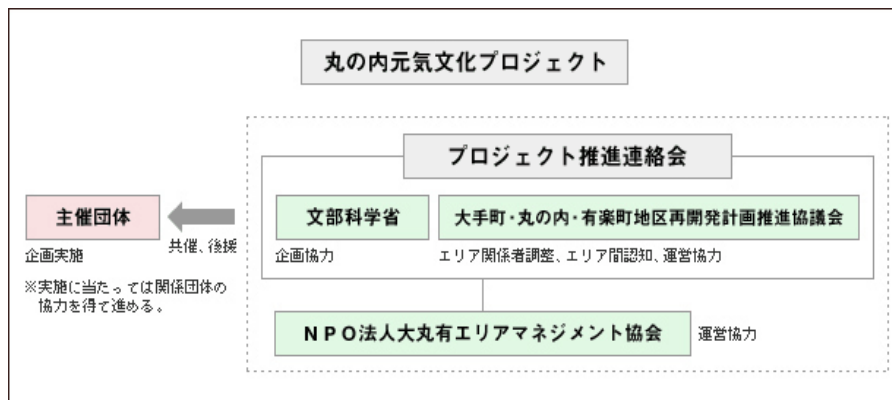
「文化力」で地域を元気にする取組

(2) 丸の内元気文化プロジェクト

丸の内元気文化プロジェクトについて

平成15年1月、この大手町・丸の内・有楽町地区(以下丸の内地区)に文部科学省が移転し地域の一員となったことで、同年5月20日付けで「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」に特別会員として参加致しました。これを契機に、丸の内からの文化発信の動きを一層推進していくため、同協議会と文部科学省とが協力して「丸の内元気文化プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトは、この地域で働く方々の芸術文化に触れる機会を増やすことなどにより、地域の文化力を高め、文化力で社会を元気にしていくことを目指すものです。プロジェクトの実施にあたっては、さまざまな分野で活動を行っている芸術文化団体と地区内企業、NPO法人「大丸有エリアマネジメント協会」などが協力して進めています。

日本でも有数の、働く人々の集まる街「丸の内」。この地域で本プロジェクトを進めることで、丸の内地域、ひいては日本の社会を更に元気にしていきたいと考えています。



本プロジェクトの普及等について



◆本プロジェクトの広報等について

- ①丸ビル1階・7階と文部科学省ビル1階に「丸の内元気文化プロジェクト専用情報ラック」を設置し、働いていてもいつでも誰でも気軽に情報を得られる場を用意しています。
- ②本プロジェクトの情報を随時インターネット及びメールマガジンにて配信しています
(丸の内エリア情報サイト<http://www.marunouchi.com>)。

《左:専用情報ラックの様子》

◆本プロジェクトに参加した際の特典について

本プロジェクトの趣旨に賛同する参加事業の登録を受け付けており、登録いただくと、

- ①「丸の内元気文化プロジェクト参加事業」名義及び「丸の内から文化力」のロゴマークを使用した活動の実施や広報
- ②推進連絡会による、事業の広報協力などの特典が得られます。
(登録受付窓口:文化庁文化広報推進室(03-6734-3161))

《左:「丸の内から文化力」ロゴマーク》

「文化力」で地域を元気にする取組

(3)「九州・沖縄から文化力」構想

「文化で日本の社会を元気にしよう！」という取組の一環として、平成18年3月18日（土）に国立劇場おきなわで開催された「伝統文化の祭典 人間国宝 九州・沖縄」において、河合隼雄文化庁長官から、新たな文化広報プロジェクト「九州・沖縄から文化力」構想を提案し、関係者の賛同と参画を呼びかけました。

文化庁では、平成15年度から、関西の自治体、経済界、マスコミ等との協働により、関西地域の文化力を高め、発信するための取組「関西元気文化圏」事業を進めています。この成果も踏まえ、今後、文化力で日本の社会を更に元気にするため、各地域の文化力充実の取組を更に推進していく必要があると考えます。

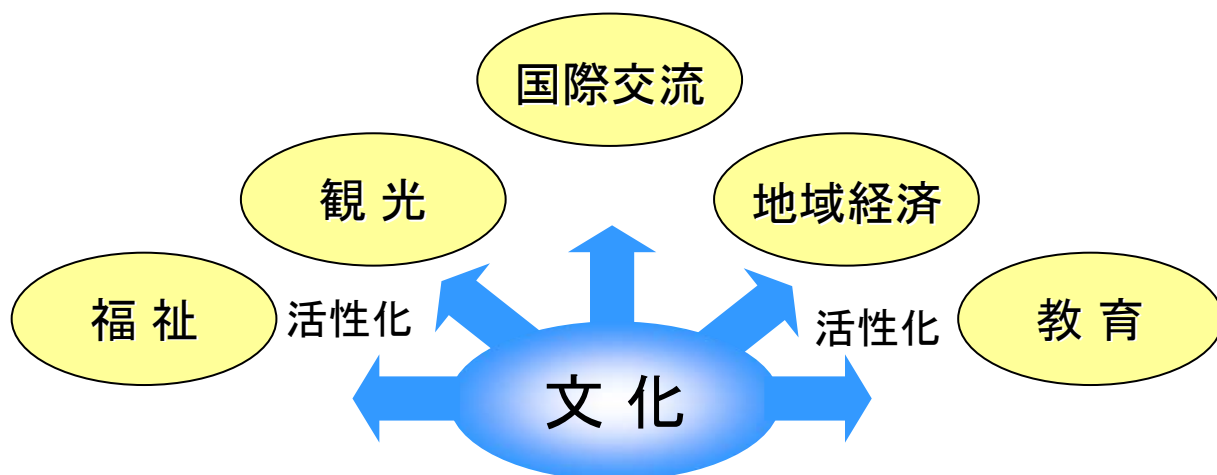
特に近年、九州・沖縄地区においては、近隣アジア諸国との文化交流が活発化するとともに、一昨年には国立劇場おきなわが、昨年には九州国立博物館が開館するなど、地域全体で文化振興への気運が高まっています。

こうした状況を踏まえ、この度、新たに「九州・沖縄から文化力」を標語とする文化広報プロジェクトを提案することとしました。

この構想の実現を通じて、多極的な文化力の拠点づくりが進むとともに、文化にかかわる様々な活動が相互に連携し合うことで、地域社会が元気になり、ひいては日本の社会全体が元気になることを目指しています。

1 もっと地域の「文化力」を！

- 「文化力」＝文化の持つ、人々に元気を与え地域社会全体を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力
- 地域の文化力を発揮することで日本の社会を元気に！



(参考) 関西元気文化圏の取組



文化カロゴマーク

平成15年3月 「関西元気文化圏構想」を公表

5月 「関西元気文化圏発起人の会」開催、事業開始

8月 「関西元気文化圏推進協議会」発足

①「関西元気文化圏」事業への登録呼びかけ
(平成18年3月までに5,000件突破)

②共通ロゴマーク

③積極的な広報活動

④文化庁主催事業の関西での実施



登録事業の様子



関西元気文化圏賞授賞式



- ・ 関西の文化活動の促進、一体的な発信
- ・ 地域全体の活性化に大きな効果

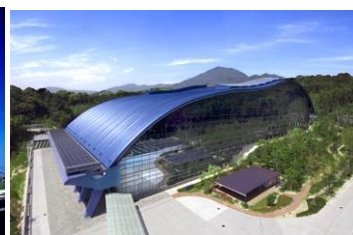
2 「九州・沖縄から文化力」構想

・ 九州・沖縄地区では、近隣アジア諸国との交流が活発化
アジア文化交流の中心として大きな存在感

・ 新しい文化施設のオープン
平成16年 「国立劇場おきなわ」
平成17年 「九州国立博物館」



国立劇場おきなわ



九州国立博物館

・ 地域全体の文化への気運の高まり

新しい文化カプロジェクト

「九州・沖縄から文化力」

文化庁主催「伝統文化の祭典 人間国宝 九州・沖縄」
(平成18年3月18日 国立劇場おきなわ)にて提案



〔「九州・沖縄から文化力」取組内容〕

- 様々な主体の文化事業の参加登録を募集
- 「九州・沖縄から文化力」共通ロゴマークを活用 ～統一イメージの形成～
- 積極的な広報活動を展開 ～文化力の一体的な発信～
- 文化庁主催事業を九州・沖縄地区で重点的に開催

例)文化庁舞台芸術国際フェスティバル(IPAF)

文化庁国際文化フォーラム など

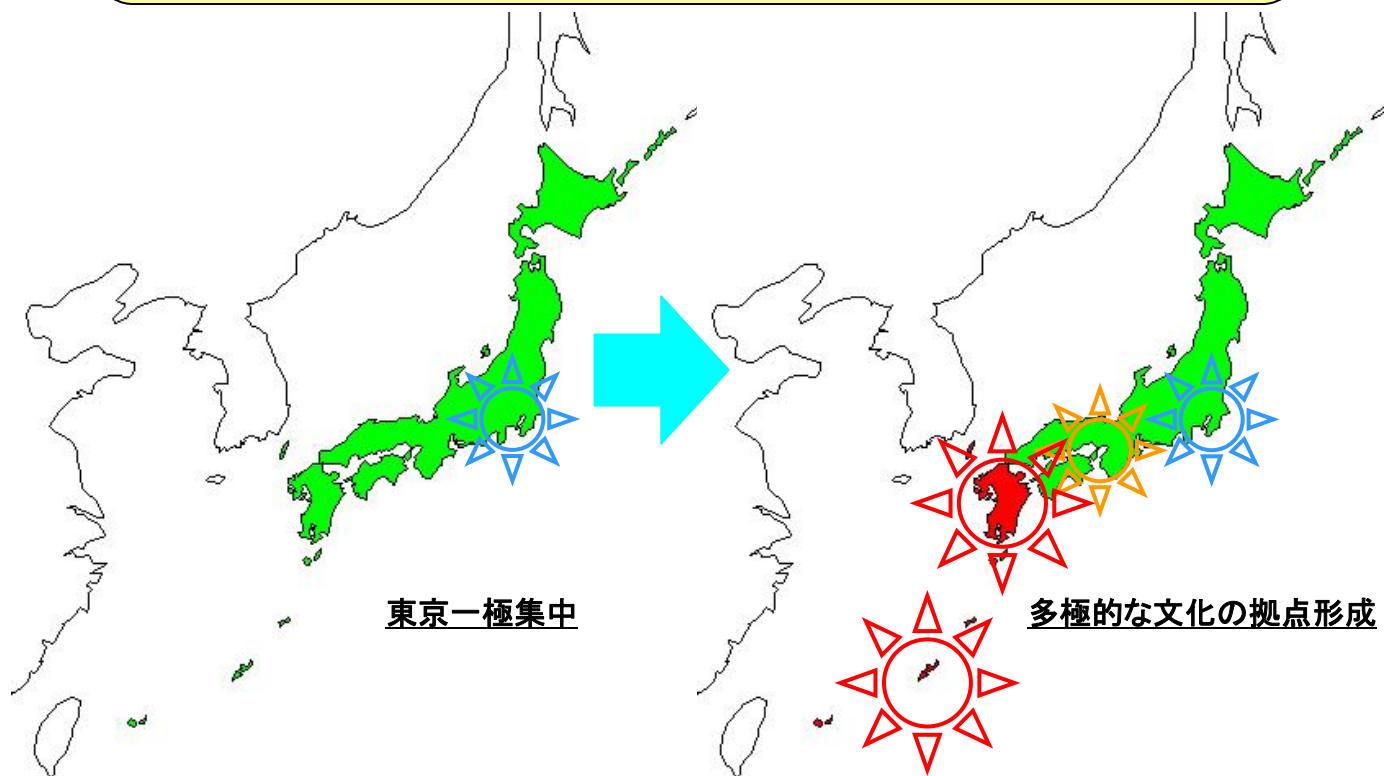


《国際文化フォーラム(イメージ)》



《国際文化フォーラム(イメージ)》

多様な地域の文化力の発信, 元気な地域づくり・国づくり



〔問い合わせ先〕

文化庁文化広報推進室

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

Phone: 03-5253-4111 (代表) 03-6734-3161 (直通)